

都留高生は「勉強して」×5だったのか？

今年の流行語の「働いて」×5や今年の漢字「熊」など一年をまとめる頃となりました。今年はどうな1年でしたか？さて、今年も都留高生の重大ニュースのアンケート調査を行い204名の回答がありました。

芸文祭が無事に閉幕

11月を中心に「私の『好き』をお伝えします。」のテーマのもと第46回山梨県高等学校芸術文化祭の各部門で県内各高校の文化部に所属する生徒が日頃の成果を披露した。

6日(木)の午前中には甲府市の中心部でパレードが行われ、午後は会場をYCC県民文化ホールに移しグランドステージが行われた。パレードでは青空の下、県庁噴水広場に県下のチアリーディング部・吹奏楽部等の生徒達が集まった。花形は何といっても甲府商業、山梨学院、甲府第一、東海大甲府、山梨英和、甲斐清和、白根高校のチアリーディングの皆さんだろう。出発式では華麗なドリルステージをみなさんで繰り広げていた。

パレードには県内の吹奏楽部のみなさんも大勢参加した。4つの梯団からなる編成に13の高校(甲府城西、甲府東、富士北稜、富士河口湖、吉田、山梨学院、甲府第一、北杜、青洲、甲府工業、甲府西、都留、甲陵)の吹奏楽部が参加した。

☆高文連 理事長の秋山岳巨先生にお話をお聞きしました。

「もうすでにいくつかの部門の視察に行かせていただきました。どこの部門でも生徒の皆さんが本当に一生懸命でここまでの成果を披露していて、これがやっぱりとても印象深く、皆さんが一生懸命取り組んできたのを見せていただいて、また聞かせていただいて楽しかったですね。」

各部門の審査の結果、書道部と新聞同好会が来年度、秋田で行われる全国総合文化祭に出場する。

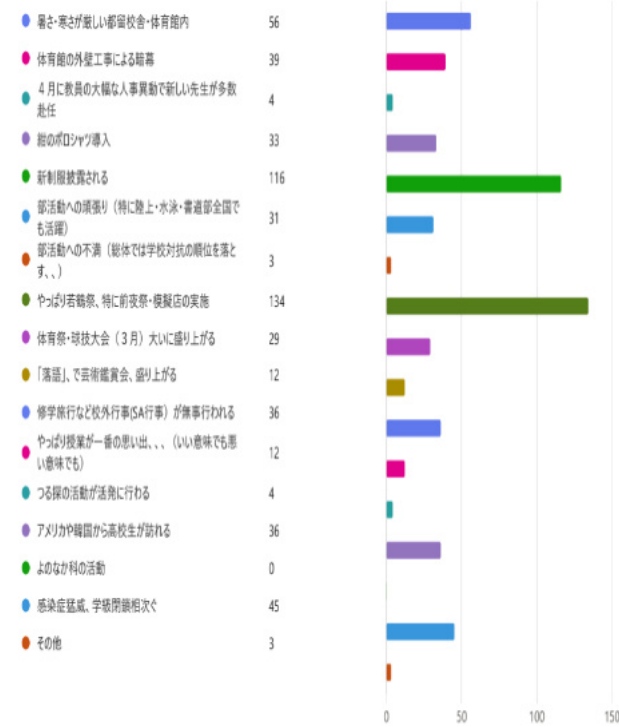


高甲府市内をチアリーディング部と吹奏楽部がパレードを行った

今年も残りわずかとなりました。先日、皆さんに募集した「都留高重大ニュース」結果が出たので、トップ5をご紹介します。

☆第5位 体育館の外壁工事による暗幕 39票

2. 今年(2024.12.15~2025.12.15)の都留高の重大ニュースだと思うものを3つまでお答えください。
選択数が多い場合は「その他」で次の項目に具体的に書き込んでください。(0点満点)



都留高生が選ぶ重大ニュース結果発表

校内では普段とは異なる景観が見られるようになりました。工事期間中は多少の不便もありますが、より良い施設環境を整えるための取り組みとして注目されています。

☆第4位 感染症猛威、学級閉鎖相次ぐ 45票

今年度は感染症の影響が大きく、体調不良による欠席者が増える時期が見られました。その結果、複数の学級で授業の実施が難しくなり、学校生活にも少なからず影響を与える出来事となりました。日頃の健康管理や感染対策の重要性を改めて考えさせられるニュースです。

☆第3位 暑さ・寒さが厳しい都留校舎・体育館内 56票

都留校舎や体育館では、季節によって暑さや寒さが特に厳しく感じられることがあり、学習や部活動の環境について話題になることがありました。

がありました。体調管理に気を配りながら学校生活を送る必要性を、改めて感じさせる出来事となりました。

☆第2位 新制服披露される 116票

新しい制服が披露され、校内では大きな注目を集めました。デザインや機能性についてさまざまな意見が交わされ、今後の学校生活への期待が高まる出来事となりました。

☆第1位 やっぱり若鶴祭、特に前夜祭・模擬店の実施 134票

若鶴祭が開催され、特に前夜祭や模擬店の実施は多くの生徒にとって大きな話題となりました。各クラスや団体が工夫を凝らした企画を行い、準備期間から本番まで学校全体が一体となつて取り組みました。生徒同士の交流も深まり、思い出に残る行事となりました。

◇3年生では、「やっぱり若鶴祭、特に前夜祭・模擬店の実施」が選ばれた。若鶴祭は、都留高生にとって特別な行事で、毎年恒例の行事として、多くの生徒が楽しみにしている。

若鶴祭、特に前夜祭・模擬店の実施」、「新制服披露される」を選んだ人が多い傾向にありました。やはり、3年生にとつての最後の行事として、とても思い出に残ったようです。

◇2年生では、若鶴祭の他には、「新制服披露される」、「暑さ・寒さが厳しい都留校舎・体育館内」を選ぶ人が多い傾向にありました。

新制服のデザインや機能性について、注目が集まっているようです。また、気温の寒暖差は、学校生活において影響が大きいようです。◇1年生では、若鶴祭の他には、「アメリカや韓国から高校生が訪れる」を選ぶ人が多い傾向にありました。珍しい国際交流は、貴重な経験として、多くの生徒が思い出に残っているようです。

その他として「来年度から修学旅行の行き先変更」(2票)、「サッカー部2部リーグで攪乱」(1票)などがありました。(ゆ・珠)

自学進取

◇沖縄への修学旅行で訪れた伊江島。高校生にとつてたつた一晩の民泊だったが、別れの瞬間に見せた生徒たちの涙と笑顔は、まさに青春の輝きだった。冬なのに、夏を感じさせる青さが広がり、頭の中でミセス・グリーンアップルの「青と夏」が流れた。◇「青春」という言葉を思い出させてくれたのが、今年のベストセラー小説、宮島未奈著『成瀬は天下を取りに行く』(新潮文庫)だ。タイトルから敬遠していたが、読んでみると爽やかな驚きがあった。主人公・成瀬あかりは、自分の信じたことを淡々と貫く。その姿勢は潔く、時に少しズレているのに人を動かす力がある。来年は舞台化も予定されている。◇東野圭吾さんの『クスノキの番人』(実業之日本社文庫)も心に残った。主人公が「番人」として人々の祈りに寄り添いながら、自分自身も成長していく物語だ。亡き父母に伝えられなかった言葉や思いを、そつと呼び覚ましてくれる。こちらこそ来年、アニメーション映画として公開される。どちらの作品にも共通するのは、人との出会いが物語を動かすということ。伊江島で過ごしたあの束の間の時間も、大人になってからの出会いとは違う特別なものだろう。皆さん、今この瞬間を悔いなく過ごして下さい。(願)

沖縄・修学旅行を振り返る

2年は12月7日から10日まで修学旅行にいったきました。美しい自然とともに、沖縄の歴史や平和の大切さについて学べました。1年生の皆さんは、来年度は体調管理をしっかりして存分に修学旅行を楽しんでください！

さて、今回はそんな沖縄の見どころポイントを紹介しようと思います。

☆見どころポイント1

飛行機から見える景色



離陸後、窓の外には青い海と広がる街並みが見え、地上とは違う景色を楽しむことができました。空から見る景色はとても広く感じ



られ、修学旅行が始まった実感が一気に高まりました。☆見どころポイント2

城山からは、伊江島の集落や畑、その先に広がる青い海まで見渡すことができます。岩場や草木と海の景色が重なり、沖縄らしい自然の広がりを感じられた。

☆見どころポイント3

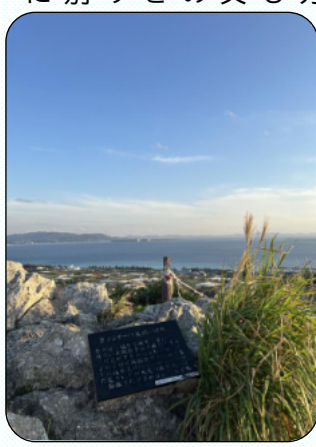
民泊では、沖縄そばやサーターアンダギー、タコスな



どの料理を民泊の方々に作って頂きどれも沖縄ならではの食文化を感じられるもので、現地の雰囲気を知るきっかけになりました。最後のお別れの会で民泊の方に教わったダンスの発表などもあり民泊の方々と仲を深めることができました。別れの際は悲しかったです。

☆見どころポイント4

アメリカンビレッジでは、カラフルな建物やライトアップされた街並みが印象的でした。夜には明かりがともり、沖縄



にしながら海外のような雰囲気を感じることができました。(夢、三)

写真は上から伊江島ビーチ、中央は民泊先の方々と別れその下は映画「木の上の軍隊」で使われたガジユマルの木写真の右は伊江島の城山からの様子、左はアメリカンビレッジの夜景

今注目の人

2年5組

石垣真優さん

今回は令和7年度第71回青少年読書感想文山梨県コンクールにおいて、最高賞の県知事賞に選ばれた2次生の石垣真優さんにインタビューしました。作品の「マイノリティとマジョリティ」は、応募総数5013点の中から選ばれました。

Q、選ばれた時の感想は？

Q、どんな内容の作品ですか？

Q、将来の夢は何ですか？

(聞き手 夢、三)



石垣真優さん

Q、これから読んでみたい作品はありますか？

Q、これから読んでみたい作品はありますか？

Q、これから読んでみたい作品はありますか？

街歩き企画・駅前観光協会

新体制になってからの第



大月駅前の観光所兼おみやげ屋さん

3弾は都留高生はあまり利用したことはないかもしれないが、駅前の観光案内所兼おみやげ屋さんです。お話を聞いてきました。

Q1、売れている商品はありますか？

Q1、売れている商品はありますか？

つる探！活動紹介③

「都留高公式Instagram」より抜粋

「つる探国際ボランティア班は本日(12月3日)、成田空港を出発し無事にセブ島に到着しました。初の海外はもちろん、飛行機が初めての生徒もいる中、5時間を超えるフライトを無事終えました。今回のPOSTMAN PROJECTにはランドセル74個、子ども服589着サンダル58足ノート83冊石鹸46個、その他、パンやタオル、文房具類を多数持参しています。」

「本日は(12月6日)はゴミ山、墓地、スラム街そして再び昨日の台風被害の避難所である小学校を訪問しました。ゴミ山ではゴミの中から食べられる物、お金になる物を探し日々過ごしたり、墓地では他人の墓地の中に入って棺桶を布団代わりに生活したりとすべてが目を疑うような光景でした。ここでも食事支援や物資の支援を行い、子どもたちと交流しました・・・」



もたちと交流しました・・・」

参加した1年次生の佐藤倅さん(卓球部)は「台風などトラブルによる急なスケジュール変更などありましたが、避難所、小学校や墓地、ゴミ山訪問など現地の方々と関わることができてたくさんの方が学べました、フィリピンの貧富の差など、厳しい部分も感じられてとても有意義だったと感じました」と感想を話してくれた。

2 おすすめの品は何ですか？

2 おすすめの品は何ですか？

Q3、都留高生に気にかけてほしいことはありますか？

Q3、都留高生に気にかけてほしいことはありますか？

(史、愛、結)